

今回、劇団うりんこさんを迎えて、ありそうでなかった児童劇を、この鈴鹿から発信させていただきます。事業団としても、(特)こどもサポート鈴鹿さんにとっても冒険的な公演です。北欧スウェーデンは、児童劇の先進国です。その遠い国で確立された、こどものための演劇をぜひこの鈴鹿のこどもたちや親ごさんに体験していただきたく、たった1度のそれも150名限定の公演ですが、終演後のこどもたちの心に、次につながるステキな何かが残ることを楽しみにお届けします。

(財)鈴鹿市文化振興事業団より

## おはなしの世界へようこそ

このおはなしは、スウェーデンの演出家パート・フーグルンドさんとうりんこの役者たちがたくさんの時間を重ねてできあがりしました。スウェーデンの演劇は、ひとりひとりと目をあわせて、やさしく語りかけることから始まります。そして、こどもたちに空想や想像の翼をあたえ、人生をあるがままに伝えてくれます。このおはなしは、こどものための演劇の魅力にあふれています。みなさんは、遠いスウェーデンのおはなしではなく、自分のことだと思ってしまうでしょう。さあ、いっしょに、おはなしの世界へいきましょう。

劇団うりんこ



西尾栄儀



内田成信



にいみひでお



下出祐子



長瀬 景



後藤優子

## パート・フーグルンドさんプロフィール



シアターメイカー、作家、そして俳優。

あらゆる世代向けの、小規模で、観客に直接話しかける劇を好んで手がけている。この30年、彼は25の作品を創り、それらは北欧の多くの劇場およびオペラハウスで上演されている。国際児童青少年演劇協会アシテジにおいても活発に活動している。SIDA(スウェーデン国際開発協力庁)の援助を受けたナミビアでの「エイズとの戦い演劇プロジェクト」のリーダーの一人。2007年、(社)日本児童演劇協会の招聘により来日。児童演劇の俳優や、子どもたちの表現教育に関わる者とワークショップを行う。その様子は「児童・青少年演劇ジャーナル げき」に詳しく掲載され、多くの劇団が強い関心を示した。

その様子は「児童・青少年演劇ジャーナル げき」に詳しく掲載され、多くの劇団が強い関心を示した。

## アクセス ◆近鉄鈴鹿市駅より徒歩6分



## 劇団うりんこプロフィール

1973年愛知県、名古屋で8人の若者により創立。現在劇団員は42名、東海3県を中心に全国区で活動。年間約500ステージ、20万人の子どものたちと出会っている。子どもたちの抱える身近な問題をテーマに取り上げ、困難を乗り越える力、<生きる力>となる芝居づくりが高い評価を受けている。

### <近年の受賞歴>

- 2006年 \*厚生労働省 児童福祉文化賞  
「だって立ってのおばあさん」(脚色・演出 西田豊子)
- 2009年 \*厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財  
\*厚生労働省社会保障審議会特別推薦  
「バイバイわたしのうち」(脚色・演出 つげくわえ)
- 2010年 \*厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財  
\*厚生労働省社会保障審議会推薦  
「ヘンテコ長屋の赤おにドン平」(作・演出 佃典彦)

劇団員募集！ 詳しくはホームページをご覧ください

## チケットのお求め先

- 鈴鹿市民会館 = 059-382-0654
- 鈴鹿市文化会館 = 059-382-8111
- (特)こどもサポート鈴鹿 = 059-383-1322
- 鈴鹿市観光協会 = 059-380-5595
- 鈴鹿ハンター = 059-379-2200
- 宮脇書店鈴鹿店 = 059-384-3737
- 亀山市文化会館 = 0595-82-7111